

母校野球部ベスト8

第101回全国高校野球選手権大会・西東京大会

2019 (令和元) 年7月23日 (火) 神宮球場で準々決勝・対創価高校戦に臨む



神宮球場 3塁側応援席より
(高35期川原口さん提供)



号外

部活動応援号

都立唯一、西東京ベスト8!

「初戦の2回戦を突破したのが、一番の力になった」と野球部OBが口を揃えて語った。

都立の強豪校を何校も率いてきた、平岩了監督が就任してから4年目の今年、チームは接戦を次々に制し、勝ち進んだ。昨秋と今春、どちらも初戦敗退、しかし今回は違った。勝つ度に強くなる、そんな感じだったという。

なんとといっても素晴らしかったのは、ベスト8進出を懸けた練馬高校との都立対決。今大会でも珍しい、「タイブレーク戦」に持ち込み、勝敗が決したのは延長14回、熱闘3時間の大試合だった。この試合に勝ち、創部以来初の「ベスト8」に神宮球場行きの切符を手にした。大会前、選手達の目標がベスト8、これを見事達成した。

SNSなどでの呼びかけもあり、ベスト4を懸けた準々決勝(対創価高校)では、多くの同窓生が応援に駆けつけた。

残念ながらここで敗退となったが、テレビ中継の解説者に「粘り強い!」と言わしめた投手をはじめ、チームの頑張りは素晴らしかった。そして、負けたにもかかわらず翌日の主要3紙のスポーツ欄は豊多摩を、「笑顔を絶やさず」と記事で

取り上げた。「全力を出し切り、笑顔で試合を楽しむ」と選手全員が決めていたそう。朝日新聞社が発行しているベスト8高の特集誌(非売品)でも、「今大会のベストチームの一つだった」との評価だったことは、本当に素晴らしい。

7回表、応援席では校歌の大合唱。多くの同窓生から、「神宮で応援出来るなんて夢のよう」「OBを神宮に連れてきてくれてありがとう」の声が寄せられた。ベンチ入り出来なかった選手も含め、チーム全員にお礼を言いたい。そして、「次はもっと上を」、「甲子園で校歌を歌いたい」、という声がたくさん届いていることも、ぜひ皆さんにお伝えしたい。今後を楽しみにしている多くの同窓生がいるのだと。

まもなく秋季大会が始まる。3年生が引退した新しいチームの活躍と健闘を祈る。

●試合後の神宮で:

試合後、球場近くの居酒屋では残念会をしていた同窓生が多くいたとの報告が多く寄せられました。ほとんどのお客が豊多摩同窓生というお店も。初対面にもかかわらず、一瞬のうちに意気投合、世代を越えた同窓生の交流が持てたところもあつたそうです。これも野球部の皆さんのおかげです。感謝!(高33期・隈本)



豊多摩同窓会

〒166-0016
東京都杉並区成田西 2-6-18

2019 (令和元) 年9月7日発行

公式サイト 豊多摩リンクス toyotama.org
FAX 03-3398-3746 jimu@toyotama.org

